

## 第24期日本学術会議 第1回 環境学委員会

### 議事録

日時：平成29年10月4日（水） 12:00～13:30  
場所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室  
出席者：秋葉澄伯、浅見真理、阿尻雅文、石川義孝、石塚真由美、岡田真美子、  
西條辰義、高村ゆかり、武内和彦、中村尚、南條正巳、春山成子（名簿順）  
欠席：磯部雅彦、高橋桂子、田辺新一、丹下健、古谷研（名簿順）  
事務局：宮本直子

### 議題

#### 1. 委員長、役員の決定

中村尚先生のご推薦により、全員一致で高村先生が委員長に選出された。主分野、部会の構成を考慮し、浅見が副委員長、石川先生、古谷先生が幹事に指名された。

#### 2. 分科会の継続

武内先生が前期の分科会の意思を確認し、以下の7つの分科会の設置が承認された。

- 1) 環境学委員会環境科学分科会
- 2) 環境学委員会環境思想・環境教育分科会
- 3) 環境学委員会環境政策・環境計画分科会
- 4) 統合生物学委員会・環境学委員会合同自然環境保全再生分科会
- 5) 健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会
- 6) 環境学委員会都市と自然と環境分科会
- 7) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE-WCRP 合同分科会（仮称）

#### 3. 分科会名称変更

22期に設置された IGBP、DIVERSITAS の活動が23期途中で FE に組み入れられた。10月16日に公開シンポジウムが開催されることもあり、FE-WCRP 合同分科会の至急設置、名称確認及び分科会会員について武内先生、中村先生からご説明があり、承認された。

#### 4. 世話人

分科会の世話人について、連携会員を含む複数名併記で可能であれば、下のよう設定することとなった。

- 1) 環境学委員会環境科学分科会（阿尻 雅文・大政 謙次）
- 2) 環境学委員会環境思想・環境教育分科会（石川 義孝・氷見山幸夫）

- 3) 環境学委員会環境政策・環境計画分科会（西條 辰義・横張 真）
  - 4) 統合生物学委員会・環境学委員会合同自然環境保全再生分科会（鷺谷いづみ）
  - 5) 健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会（秋葉 澄伯）
  - 6) 環境学委員会都市と自然と環境分科会（石川 幹子）
  - 7) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE-WCRP 合同分科会（中村 尚・三枝 信子）
- 早急に設置を行う分科会は、10月中旬までに設置書類を事務局に送付する。

## 5. 日本学術会議会則に基づく委員会決定

当委員会に設置される分科会の議決は、当委員会の議決とする。但し、当委員会の委員長が当委員会における議決を必要と判断した場合はこの限りでない規程について了承された。

## 6. 今後の活動について

武内先生より、昨年は、環境学委員会、各分科会合同委員会を開催した。出席定数の件もあるが、できれば大きなスコープでの環境を考える機会として、また開催してほしい、FEの出口としてSDGsをターゲットとすることとし、報告を発出したという紹介がなされた。また、会長直属の持続可能会議を設けたこと、FE、SDGs、パリ協定の整合が重要であること、科学と社会にもSDGsに関する分科会が設置されたことなどが紹介された。

早い時期に関連の分科会の情報共有の機会、合同分科会を開いてはどうかという議論がなされた。

また、全体の動きとして、FE推進・連携委員会、高デザイン、高プロダクションを目指す活動において、様々な科学者中心に連携が求められる予定についてご紹介があった。加えて、FE日本委員会（学術会議が事務局）が発足し、学術から1人、学術以外から1人の共同議長を出す予定で、FE運営委員会も発足予定であることも紹介された。全体の関連図があり、今後共有したいとの意見が出された。

各分科会で予めテーマが決まっていると議論しやすく、報告、提言等も書きやすいので、できるだけ早く、合同分科会等で議論を整理することが望ましいとの意見もあった。

西條委員より、経済学委員会の中で、Future Design分科会ができるので、環境学委員会との合同委員会として認めてほしいとの意見が出され、了承された。

分科会の設置、メンバーについては委員長承認で行うこととなった。

了